

《Lesson 4》可算名詞の「複数形」

可算名詞の複数形は、

名詞の最後に **s** または **es** を足せば完成

となります。では、具体的にいつ **s** を足し、いつ **es** を足すのか確認していきましょう！

【s を足す場合】

- ・ **大部分の名詞** は、複数形にする時、語尾に **s** をつける。

<例> (何匹かの) 犬 = dogs (何冊かの) 本 = books

【es を足す場合】

- ・ 単語の最後の文字が「**s, o** (*ただし「子音+o」のみ), **x, sh, ch**」の時。

覚え方 「ソックス (sox) をシュツチュ (sh, ch) と洗う」

<例> (何台かの) バス = buses (buss = ×)
(何個かの) ジャガイモ = potatoes (potatos = ×)

語尾が「子音+o」であっても、es ではなく s が足される場合もある。

<例> ピアノ = pianos (pianoes = ×) 写真 = photos (photoes = ×)

【例外の理由】

- (1) 英語では、もともと長い単語が短くされた形は、語尾が「子音+o」であっても複数形は **s** をつけることが多い。

piano → pianoforte が短くされた形 photo → photograph が短くされた形。

- (2) 外来語 (元々がイタリア語など) は、語尾が「子音+o」であっても複数形は **s** をつけることが多い。

soprano (ソプラノ歌手) の複数形 = sopranos (sopranoes = ×)

- ・ 単語の最後の文字が「**子音+y**」の時は、**y → i** にして **es**

<例> (いくつかの) 国 = countries (country = ×)
(何人かの) 赤ちゃん = babies (babys = ×)

【例外の形】

・練習では、まだ登場しませんが、以下のような例外の形もあります。

	単数形	複数形
パターン1：魚	fish	fish
パターン2：ナイフ	a knife	knives
パターン3：男性	a man	men

パターン1 = 単数形と複数形が同じ形

<他の例> a sheep → sheep (羊)

パターン2 = 単語の最後が **-f / -fe** の時 → **-ves** にする

<他の例> a wolf → wolves (オオカミ)

パターン3 = 基本的に不規則な形。暗記するのがベスト

<他の例> a child → children (子供)

【複数形の名詞に形容詞を足す場合 (形容詞+名詞)】

・複数形の名詞に形容詞をつける場合、s/es を足すルールは、**通常通り名詞の最後に注目**。

<例> 新しい生徒たち → new students

黒色の腕時計 (複数形) → black watches (最後が ch なので、-es)

悪いお話 (複数形) → bad stories (最後が子音+y なので、-ies)

【「所有格」「these/those (これらの/それらの)」「数詞 (one/two/three)」が入る形】

・「数詞」が入る場合 = 「数詞+形容詞+名詞」

<例> 2つの黒色の腕時計 → two black watches

・「所有格」が入る場合 = 「所有格 (+数詞) +形容詞+名詞」

<例> 私の2つの黒色の腕時計 → my two black watches

・「these/those」が入る場合 = 「these/those (+数詞) +形容詞+名詞」

<例> これらの2つの黒色の腕時計 → these two black watches

注意：「所有格」と「these/those」は基本的に同時に使われない

<例> these my black watches = × your those two books = ×

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。